

平成 21 年 2 月 13 日

各位

会社名 株式会社ソフィアホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 飯田 裕樹
 (コード番号 6942)

問合せ先 取締役 情報開示担当 柴山 孝輔
 (TEL 03-5365-1035)

業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 11 月 14 日付当社「平成 21 年 3 月期 第 2 四半期決算短信」にて発表いたしました平成 21 年 3 月期通期連結業績予想を修正することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、平成 21 年 2 月 13 日開催の取締役会において、平成 21 年 3 月期末配当予想につきまして、修正することを決議致しましたので、合わせてお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正

平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	5,650	190	170	160	7 73
今回修正 (B)	4,400	△300	△330	△650	△31 41
増減額 (B - A)	△1,250	△490	△500	△810	
増 減 率	△22.1%	-	-	-	

2. 通期業績予想の修正と差異が生じた理由

当期におけるセグメント別の当初売上高予想値と今回予想値の差異は以下の表に記載のとおりです。

セグメント別 通期(連結売上高) (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

事業種別	当初予想値(百万円)	今回予想値(百万円)	増減率(%)
デザインオートメーション事業	1,950	1,450	△25.6%
情報システム事業	800	500	△37.5%
インターネット関連事業	2,900	2,450	△15.5%
合計	5,650	4,400	△22.1%

「デザインオートメーション事業」

デザインオートメーション事業につきましては、当社子会社株式会社ソフィアシステムズが携帯端末機器開発メーカーなどの顧客を設定して拡販活動を行い、新製品の拡販及びソリューションサービスの提供を推進しています。しかし、今なお続く厳しい経済状況を背景とし、主要顧客である大手電機機器メーカー等が、開発に対する投資を抑制している現状であり、平成 21 年 3 月期第 3 四半期においてもその売上高は 863 百万円に留まっている状況であります(前年同期比 52.3%)。第 4 四半期においてもこうした設備投資意欲の減退が続くものと考えられるため、当初予想値 1,950 百万円を修正し、1,450 百万円といたしました。

「情報システム事業」

情報システム事業につきましては、当社子会社株式会社ソフィアモバイルが、顧客である広告アフィリエイト事業主等を通して次世代型電子POP端末（nanica7）の販売を展開していますが、サブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱等で世界的な経済が一段と減速する厳しい経済状況を背景とし、主要顧客である広告アフィリエイト事業主等が、広告や販促に対する費用を大幅に削減している現状であり、平成21年3月期第3四半期においても、その売上高は307百万円に留まっている状況であります（前年同期比718.7%）。第4四半期においても、こうした広告等の投資意欲の減退が続くものと考えられるため、当初予想値800百万円を修正し、500百万円といたしました。

「インターネット関連事業」

インターネット関連事業につきましては、当社子会社ソフィア総合研究所株式会社が顧客であるインターネット事業主をとおして、インターネット関連事業・ECサイト構築関連事業を行っておりますが、雇用情勢の悪化など、厳しい経済状況を背景とし、主要顧客であるインターネット事業主等が、開発や設備に対する投資を抑制している現状であり、平成21年3月期第3四半期においても、その売上高1,893百万円に留まっている状況であります（前年同期比82.4%）。第4四半期においても、こうした開発等の投資意欲の減退が続くものと考えられるため、当社予想値2,900百万円を修正し、2,450百万円といたしました。

営業損益につきましては、上記の売上高の減少に加え、春日電機株式会社に対して有する売掛債権157百万円に貸倒引当金31百万円を計上し、さらに、any1株式会社に対して有する売掛債権26百万円に対しても貸倒引当金を計上したため、通期連結業績予想の営業損益を修正することとなりました。

当期純利益につきましては、投資有価証券評価損として総額136百万円を特別損失として計上したほか、第3四半期決算において法人税等調整額159百万円の計上をいたしました。

以上より、平成21年3月期通期の業績予想としては、売上高4,400百万円、営業損失300百万円、経常損失330百万円、当期純損失650百万円となる見込みであります。

尚、当社は平成19年4月1日より持株会社移行にあたり、連結ベースでのグループにおける経営管理を行っておりますので、個別での業績予想につきましては、公表を差し控えさせて頂いております。

（注）業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

3. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	年間*
前回予想 (平成20年11月14日発表)	0円00銭	3円00銭	8円00銭
今回修正予想	0円00銭	0円00銭	5円00銭
当期実績	0円00銭		
前期(平成20年3月期)実績	0円00銭	0円00銭	0円00銭

*平成20年7月31日を基準日とした、剰余金の配当5円を加算しています。

(2) 配当予想修正の理由

今回の業績予想修正に伴い、平成21年3月期末に予定しておりました、1株当たり配当金3円を0円に修正させていただきます。

年間の配当予想は平成20年6月30日を臨時決算日とし7月31日を基準日とした剰余金の配当5円のみを予定しております。

以上